

はじめに

「二十一世紀は人権の世紀」と言われるように、すべての人々の人権が尊重され、互いに心の痛みを分かり合える平和で豊かな社会を実現することは、私たちにとって共通の願いです。しかしながら、今日の社会においてもなお、いじめの問題、障害のある人、高齢者に対する人権侵害、インターネット上での誹謗や中傷の書き込み等、様々な人権問題が発生しております。

こうした中、人権についての理解を深めるとともに、日常生活の中で人権への配慮が態度や行動に現れるような人権感覚の育成に主眼をおいた人権教育の推進・充実が一層求められています。

「はばたき」には、児童生徒の豊かな感性を通して、日常生活の様々な差別や偏見に気づき、互いの人権を尊重するためにはどうしたらよいかを、深く考えることのできる作品が載せられています。前向きに力強く生きようとする子供たち一人一人の生き方と、読む人の心の琴線に触れるような体験が詰まっています。それは、私たちに感動と勇気、そして希望を与えてくれるものです。この「はばたき」が、学校や地域・家庭等で広く活用されることを心から願っております。

おわりに、すばらしい作品を応募してくださった児童生徒の皆さん、刊行にあたって御協力いただきました皆様に厚くお礼申し上げます。

平成二十九年十二月

埼玉県教育局市町村支援部人権教育課長 吉野 雅彦